

平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 地域日本語教育コーディネーター研修
 募集案内

文化庁文化語部国語課

1 目的

地方公共団体，国際交流協会，地域の日本語教室等で日本語教育プログラムの編成・実施及び日本語教育プログラムの実施に必要な地域の関係機関との連携・調整に携わっている者を対象に「地域日本語教育コーディネーター」（「5 対象者」で定める者をいう。）に必要な資質・能力について理解を深め，その向上を図ることを目的とした研修を開催する。

具体的に以下の～の役割について，理解を深め，その能力の向上を図る。

- 【現状把握・課題設定】在留外国人の状況と施策に対する理解，地域日本語教室の現状及び問題の把握と課題の設定
- 【リソースの把握・活用】日本語教育のリソースの把握と課題に応じた適切な活用
- 【ファシリテーション】課題解決のプロセスの可視化による日本語教育の体制整備に向けた活動の推進
- 【連携（ネットワーク）】組織内外との調整や地域・組織・人の力をつなぐことによる協働の推進
- 【方法の開発】「生活者としての外国人」に適した日本語教育プログラムの実践に向けた方法の開発

2 主催

文化庁

3 開催地

東日本地域（東京） 平成31（2019）年度は西日本地域で開催予定

4 研修期間

4日間。具体的には以下のとおり。

	東日本地域（東京）
研修 コーディネーター 研修及びフォローアップ研修	【日時】 平成30年8月30日（木）9：30～17：00 研修1日目のみフォローアップ研修（平成22～29年度受講者）を同時開催する。 平成30年8月31日（金）10：00～17：00 【会場】 文部科学省13階 13F1～3会議室 文部科学省旧文部省庁舎2階 文化庁特別会議室
実践活動期間	平成30年9月～平成31（2019）年2月 （各地域において計画した活動を実施）
中間報告会	【日時】 平成30年11月29日（木）10：00～17：00 【会場】 文部科学省（予定）
研修	【日時】 平成31（2019）年2月28日（木）10：30～17：00 【会場】 文部科学省（予定）

文部科学省：東京都千代田区霞が関3-2-2

5 対象者

次の全てに該当する者で、地方公共団体（都道府県及び市区町村（教育委員会を含む））、国際交流協会又は社会福祉協議会が推薦する者

- (1) 原則として、日本語教育に関する専門的な教育を受け、十分な経験（3～5年程度）を有する者
（「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」（文化審議会国語分科会）の15ページ以降参照）
- (2) 地方公共団体・国際交流協会・大学、日本語教育機関、NPO法人等において日本語教育プログラムの編成及び実践に携わっている者
- (3) 地域日本語教育プログラムの実施に必要な地域の関係機関との調整に携わっている者

ここで言う「国際交流協会」とは、地方公共団体が設立した、地方公共団体が事務局を務める、地方公共団体から補助金等を受けている、地方公共団体の施設の指定管理を行う法人及び団体のいずれかに該当し、かつ地域における国際交流、多文化共生、外国人支援等に関する事業を行うものを指す。

「4 研修期間」で示している研修、の計4日間全ての日程を受講可能な者のみとする。研修への参加に当たっては、実践活動の場を有することを必須とし、本研修の実践活動について事前に代表者及び関係者の承諾を得ておくこと。平成22～29年度「地域日本語教育コーディネーター研修」を受講した者は、フォローアップ研修として、本研修1日目のみ参加することができる。

6 定員 原則として20名（本研修の目的等を考慮の上、選考を行う。）

7 内容 別紙のとおり

8 経費負担

本研修の受講は無料とするが、研修受講に要する旅費、滞在費等は受講者の負担とする。

9 受講申込み

受講申込みは、個人ではなく、上記5に示した推薦団体ごとに受講申込書（様式1）を作成して、メール及び郵送により下記まで申し込むこと。

締切りは平成30年8月1日（水）必着とし、受講可否については、8月10日（金）以降の通知とする。

応募時に記載された個人情報には、本研修実施のためにのみ利用する。

10 その他

- ・日程の細部は事情により変更になる場合がある。
- ・受講者は研修初日の午前9：00から9：30の間に来場すること。
- ・本研修の受講者には、研修受講による成果や受講後の取組について、文化庁主催の日本語教育大会や翌年度の地域日本語教育コーディネーター研修で発表を依頼することがある。また、各地域において、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託し日本語教育に取り組む地方公共団体や機関・団体への協力を依頼することがある。

11 問合せ・申込先

文化庁文化政策課 日本語教育専門職 北村、増田

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-5253-4111（内線2644） FAX 03-6734-3818 E-mail nihongo@mext.go.jp

日程
研修

8月30日(木)

9:30	11:00	11:45	12:30	14:30	14:45	16:15	17:00
在留外国人と 日本語教育	活動と広報	昼食・休憩	地域日本語教 育の体制整備に 向けた「ステイ ネーター」の役割	休 憩	日本語教育 に携わる人材 の育成	ふりかえり	

研修

8月31日(金)

10:00	12:00	12:45	14:45	15:00	16:15	17:00
地域日本語 教育のプログ ラムデザイン	昼食・休憩	地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【事例研究】	休 憩	実践活動計 画の策定	ふりかえり	

中間報告会

11月29日(木)

10:00	12:00	13:00	15:00	15:15	16:00	17:00
地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【中間報告】	昼食・休憩	地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【中間報告】	休 憩	地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【中間報告】	ふりかえり	

課題設定や実践活動の中間報告を行い、それに対し実践活動アドバイザーが助言を行う。

研修

2月28日(木)

10:00	10:30	12:00	13:00	15:00	15:15	16:00	17:00
受 付	地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【実践発表】	昼食・休憩	地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【実践発表】	休 憩	地域日本語 教育のプログ ラムデザイン 【実践発表】	ふりかえり	

主な講師

- ・ 菊池哲佳

(多文化社会専門職機構認定 多文化社会コーディネーター・公益財団法人仙台観光国際協会)

- ・ 土井佳彦 (特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海)

- ・ 萬浪絵理 (公益財団法人千葉市国際交流協会委嘱日本語教育コーディネーター)

他

実践活動アドバイザー

- ・ 仙田武司 (公益財団法人しまね国際センター)
- ・ 堀永乃 (一般社団法人グローバル人財サポート浜松)
- ・ 山田泉 (にんじんランゲージスクール)
- ・ 結城恵 (群馬大学)

内容

項目	内 容	
研修 平成30年8月30日(木)		
講義1	在留外国人施策と日本語教育	文化審議会国語分科会における審議を踏まえ地域日本語教育コーディネーターに求められること及び在留外国人・日本語教育施策等について関係省庁担当官から最新の動向及び政策情報を得る。
講義2	活動と広報	地域における日本語教育活動に必要な効果的な広報の実践と、広報活動における個人情報などの観点からの注意点、さらに著作権に関する情報を学ぶ。
講義3	地域日本語教育の体制整備に向けたコーディネーターの役割	文化審議会国語分科会報告を踏まえて地域日本語教育コーディネーターの役割について整理する。
講義4	日本語教育に携わる人材の育成	日本語教育に携わる人材に求められる役割について学び、その養成・研修の在り方及び実践例について学ぶ。
ふりかえり		1日目のふりかえりを行う。
研修 平成30年8月31日(金)		
講義5	地域日本語教育のプログラムデザイン	地域日本語教育プログラムについて学び、課題設定からプログラムの策定までの方法、実施から点検、評価、改善までの手法を学ぶと共に、各地のプログラムについて検証を行う。
演習1	地域日本語教育のプログラムデザイン 【事例研究】	先進的な地域日本語教育コーディネーターによる事例を基に、グループ毎に課題設定等や計画についての分析を行う。
演習2	実践活動計画の策定	地域課題の解決に向けて地域日本語教育プログラムの策定を含めた実践計画を作成する。
ふりかえり		研修 全体のふりかえりを行う。
中間報告会 平成30年11月29日(木)		
演習3	地域日本語教育のプログラムデザイン 【中間報告】	研修 で設定した実践課題について中間報告を行う。研修担当講師及び実践活動アドバイザーから体制整備の観点からコメント・助言を受ける。活動への取り組み方やコーディネーターの役割について再度見直しを行った上で、実践の継続及び研修 で発表を行うための準備をする。
ふりかえり		中間報告会のふりかえりを行う。
研修 平成31(2019)年2月28日(木)		
演習4	地域日本語教育のプログラムデザイン 【実践発表】	実践活動の成果を発表し、相互に学ぶ。
全体ふりかえり		研修 , 実践活動, 研修 を通して学んだコーディネーターに必要な能力について理解を深める。